

アーカイブ No.7

※アーカイブとは、重要記録を保存活用し、未来に伝達することです。

伊与喜

佐賀・伊与喜地区は伊与木川に沿って農地が開けています。昔は伊与木川には堤防がなく、洪水から田を守るため河岸に竹を植え、川の恵を受けながら主に農業を生業にして暮らして来てきました。

伊与木弥平次墓



伊与木城5代目城主。城主中最も有名で、17歳の時朝鮮に出兵し、高麗国で命を落としました。

墓は長曾我部元親が送ったとされています。



伊与木城跡

伊与木城は一条教房公が幡多に入国して、1478年、幡多郡の防備を固めるために築き、幡多の表玄関口として重要な役割を果たして来ました。

その後、山内一豊に城を明け渡すまでの122年間、城主は伊与木家が務めてきました。



上空から見た伊与喜地区



佐賀保育所

平成30年、佐賀地区から伊与喜地区に移転。東日本大震災後、津波の危険から子ども達の命を守るために、保護者会が中心となり署名運動が起こり、話し合いを重ねた結果、この場所に移転が決まりました。



夏祭り

毎年行われる夏祭りは、伊与喜小学校の校庭にやぐらを組み、子どもも大人も参加する盆踊りなど、ひと夏の楽しい行事として行われています。保護者会など様々な出店もあり、賑わいに花を添えています。



三方山奉納相撲

明治元年、1868年より伊与喜地区に伝わっている行事。

以前は山の頂上に土俵がありましたが、今は伊与喜小学校の後方にあり、毎年、男児と女児のちびっこ力士が熱戦を繰り広げています。

編集後記

3月定例会の議場においては、マスク着用は勿論のことアクリル板の前での発言を余儀なくされ、ケーブルテレビからの光景も、国会中継での同様な姿に見慣れてしまい、ごく普通のこのようになってしまっています。

そんな折、新型コロナウイルスのワクチン接種が間もなく始まり、その効果は90%以上とも言われ、強い味方となることと思われ、ですが、コロナとの共存は、しばらく続きそうです。

議会としては今後も、町民の皆さんの命を守る施策等、提言して参ります。

今回が現委員会メンバーでの最後の編集となりますが、次回以降も議会広報にご期待ください。

(浅野修二)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 浅野 修一 |
| 副委員長 | 宮地 葉子 |
| 委員 | 中島 哲也 |
| 同 | 濱村 美香 |
| 同 | 宮川 徳光 |

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会
■編集 黒潮町議会広報常任委員会
■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 5893 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

■発行日 令和3年5月1日